

答

愛媛県の提案は、「西条の水文化を将来にわたり守るため、黒瀬ダムの具体的な活用方を検討する」とのことであり、本市のビジョンと合致するものであるが、分水を前提とする提案については、応えることはできないという従来からのスタンスに変わりはしない。

また、水問題の終結については、さまざまな事情が絡むことから、早期解決とはならないと考えている。

本市としては、今後も、市民や企業、各種団体に対して、情報を適切に提供するとともに、それに対する意見を真摯に受け止め、総意に基づき対応を図っていききたいと考えている。

若者の夢実現へ！

チャレンジ応援事業

問

子どもや学生の夢を育み、夢へのチャレンジに対し地域を挙げて応援することは、地域の魅力創造にもつながる重要な施策と考えるが、事業の実施について、どのように考えているのか。

答

魅力あるまちづくりを推進するためには、まちづくりへの市民の積極的な参画が必要不可欠であり、参画によって生じる活力や熱意が本市の発展を支えるものと考えている。特に、自らの夢の実現や地域貢献といった行動を起こす際に生じる若者の活力は、地域の活性化はもとより、人口減少問題などに立ち向かう本市のまちづくりに欠かせぬ原動力になるものと感じている。

現在、本市では、次世代もづくり人材育成事業や高校生海外スタディーツアーなどの事業を通じ、人材の育成や将来の夢を育むきっかけづくりとなる各種施策を行っているところであるが、若者の自由な発想や夢へのチャレンジを具現化する取組への支援策も一つの課題であると認識している。

本市においても、若者の夢へのチャレンジや地域活動などに対する意欲を喚起し、その取組を後押しするしくみづくりについて、今後、先進事例なども参考にしながら、研究・検討を進めていきたい。

リベラル西条

議案質疑

平成27年度
一般会計補正予算(第6回)

今後の計画は？

学校施設の大規模改修

問

校舎の劣化補修と外壁断熱処理を行うことにより、どのような効果が期待できるのか。また、学校施設の劣化状況をどのように把握し、今後、改築との関連も含めて大規模改修をどのように計画しているのか。

答

鉄筋コンクリート造の建物は、日光などの熱を蓄積しやすいが、外壁断熱処理をすることで、建物の断熱性能が向上し、より快適な教育環境が確保される。

学校施設の劣化状況については、年4回の点検と目視による日常点検業務を実施して



神戸小学校

問 総合6次産業都市への取組を成功させるには、将来の6次産業を担う人材をいかに育成するかが肝要となるが、高等学校との連携や支援について、どのように考えているのか。

答

総合6次産業都市の実現には、地域に密着して活躍することができると人材の育成が重要であると認識している。平成27年度は、株式会社伊予銀行の支援により、愛媛県立西条農業高等学校において、内閣府の実践キャリアアップ戦略に基づく食の6次産業化プロデューサーの研修講座が開講された。こうした取組に対しては、高等学校と連携しながら、講師の派遣や研修受入先の拡大などにより、「食」の6次産業化を担う人材の育成を支援したいと考えている。

また、今後は、現在設立準備を進めている(仮称)地域創生センターを中心に、高等学校と大学が連携した高大連携教育の推進に努め、より創造性豊かな中核人材の育成を図りたい。

一般質問

人材育成により

総合6次産業都市の

実現を！